
生活・総合的な学習分科会

I 研究のあゆみ

- | | | |
|-----------|---|-----------|
| 4月18日(火) | 2023年度名教組教研オリエンテーション
(2023年度名教組教育研究活動の進め方) | 【教育館】 |
| 5月2日(火) | 発表テーマ報告・集約 | |
| 5月15日(月) | 研究計画の検討 | 【鶴舞小】 |
| 5月下旬~6月下旬 | 全体での会は開かなかったものの、個別に指導
(第1次実践についての検討) | |
| 6月26日(月) | 研究内容の検討
(第2次実践についての検討と研究のまとめ方) | 【鶴舞小】 |
| 7月31日(月) | レポートの検討とプレゼン資料のまとめ方 | 【鶴舞小】 |
| 8月~9月上旬 | 全体での会は開かなかったものの、個別に指導 | |
| 9月16日(土) | 第73回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会 | 【ウインクあいち】 |

II 研究協議の概略

生活科

- 個別最適な学びを意識して主体的に活動する実践
- 対話や伝え合いを通して気付きの質を高める実践
- 協働的な学びを通して、自分自身の成長に気付く実践
- ICTを活用して、協働的な学びを促す実践

総合的な学習

- 探究的な学習を通して、主体的に課題解決に取り組むことができるようにする実践
- 課題解決を通して、実生活をよりよいものにする実践

III 今後に残された課題

生活科

- 生活科の学習では、「思いや願い」「体験」「準備」が大切である。今後の実践においても、児童が学びへの思いや願いをもち続けることができるように、体験活動を充実させるとともに、教材・教具・環境の準備をしっかりと授業に臨んでほしい。
- 活動の中で児童の思いや願いが変化していくのは当然なので、その変化に寄り添った指導の工夫を考えていくとよい。

総合的な学習

- 課題設定の仕方を工夫したり、振り返り活動を充実させたりして、学習に連続性をもたせることで、児童が主体的に探究活動を繰り返すことができるようにするとよい。